

えんがわ

第47号

2011年2月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
TEL 046-852-1182

ナマステ・ ネパールの心

昨年の十二月に職員五名
ネパールを訪問する機会が
ありました。約十六時間の
空の旅。空港に着くと今回
お世話になる日本人医師植
戸先生とネパール人の元衣
笠病院職員のシュレスタさ
んが笑顔で出迎えてくれま
した。

まずは手を胸元で合わせ
「ナマステ」。この挨拶は
おはよう・こんにちは・こ
んばんは・さようならと非
常に便利な言葉です。運転
手さん、ホテル職員みんな
がこころを
こめて挨拶
してくれま
す。また病
院に訪れる



と、職員も手が不自由な患
者さんも手を合わせナマス
テと言いながら迎えてくれ
ます。田舎の山里で出会っ
た子供たちも、笑顔で挨拶
してくれます。

「ナマステ」のナムは元
々ヒンズー教の神に捧げる
言葉や、日本の仏教で唱え
る「南無阿弥陀仏」のナム
の語源に由来するもので、
「テ」はあなたと言う意味
で、相手の心の中にいる神
様を敬いますという意味が
あるそうです。

ネパールの人々は外国か
らきた私たちを暖かくに受
け入れてくれました。私た
ちもナマステの心を持って
日々の生活を過ごしていき
たいものです。
法人事務局次長 阿部誠

えんがわ在宅 ひとくち 補聴器

「補聴器は雑音がうるさく
て使えない」
このような話が日常診療
でよく聞かれます。

赤ちゃんの泣き声は、聞
かなくてはいけない音でし
ようかそれとも雑音でしょ
うか。赤ちゃんの親にとつ
てはきつと聞かなくてはい
けない音です。一方、周り
にいる人にとつては雑音か
もしれません。車のクラク
ションも鳴らされている人
にとつて必要な音ですが、
その他の人にはきつと雑音
です。同じ音でも聞く人に
よって必要な音か雑音かは
変わってしまいます。補聴
器はこれらを判断すること
はできないのです。そして、
聞きたい音より雑音を大き
くしてしまうものはありま

せん。中には
雑多な音の集
まりを雑音と
判断して小さ
くしてくれる
機能を持つも
のもありま
す。



見えにくいことに比べ
て、聞こえにくいことは「聞
くべき音がしていることに
気づけない」ため自分では
困りにくいようです。会話
は情報量も多く優れたコミ
ュニケーションの手段だと
思います。話し手に大きな
声を出してもらえばかりで
なく、補聴器を装着して聞
き手の方からも歩み寄って
みてはいかがでしょうか。
衣笠病院耳鼻科 長尾淳一

寒い日が続きます。イン
フルエンザも流行してきて
います。それを過ぎればも
うすぐ春です。どうぞお身
体に気をつけて、お過ごし
下さい。